

長洲町地域公共交通計画 概要版

計画策定の背景と目的

豊かで暮らしやすい地域づくりや活力あるまちづくりを推進する上で「移動」は欠かせない存在であり、地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、福祉、環境等の様々な分野で効果が期待でき高齢化や人口減少等が進む中で、ますます重要となっています。

このようなことから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づき、町の公共交通に係る現状と今後の課題を整理するとともに、町の実情に合った持続可能な地域公共交通の在り方や今後の施策等について整理することを目的に「長洲町地域公共交通計画」を策定します。

計画期間

計画の期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

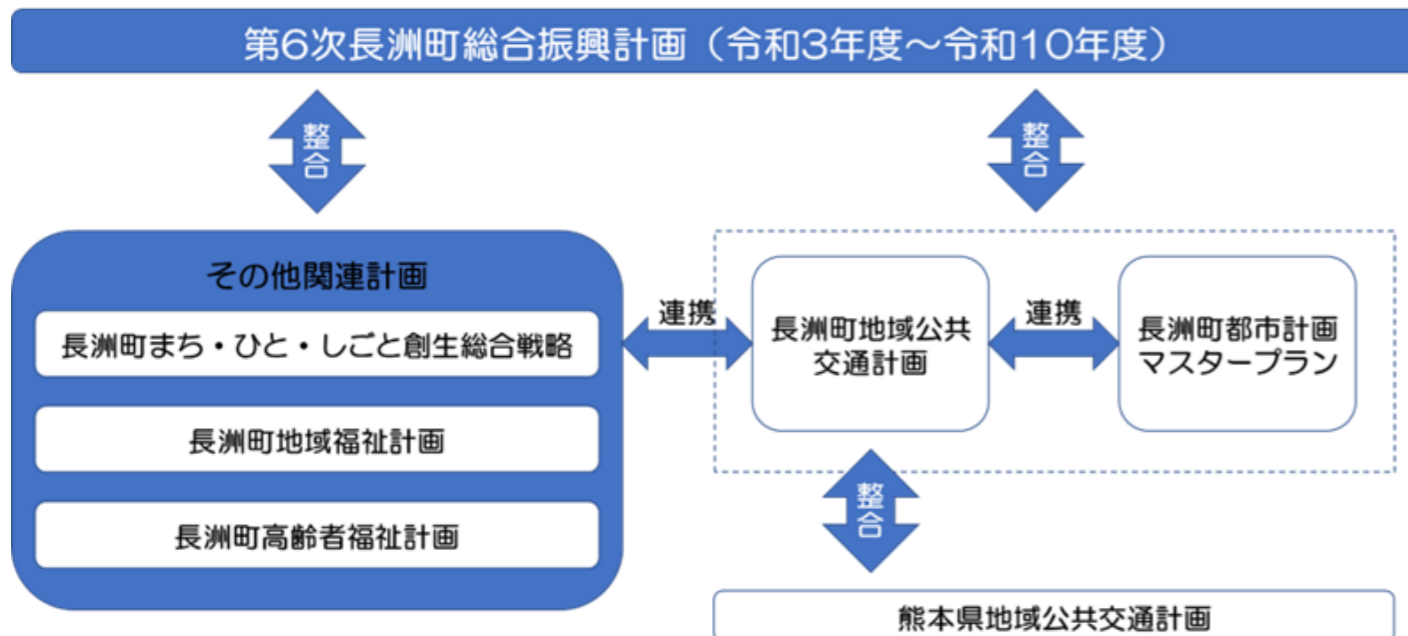
なお、今後の社会情勢の変化や具体的な取り組みの事業等の進捗状況により、適宜、本計画の検証及び見直しを行います。

計画の対象区域

本計画の対象区域は、長洲町全域とします。

計画の位置づけ

本計画は、「第6次長洲町総合振興計画」を上位計画として、まちづくりに関連する「長洲町都市計画マスタープラン」や「第2期長洲町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、その他関連計画との整合性を考慮して策定します。



本町の公共共通に関する現状・問題点を踏まえた課題

アンケート調査等から見えた公共交通に関する現状や問題点を踏まえ、本町における公共交通の課題を整理しました。

交通に関する現状・問題点

- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・公共交通への住民満足度が低い

➡公共交通需要の変化への対応と持続可能な交通体系の構築が必要

- ・自家用車への依存が高い状況
- ・高齢者の移動手段の確保、運転免許返納者への対応
- ・公共交通の利用者の減少

➡安全・安心の確保と利便性の高い公共交通の構築、交通事業者の持続的なサービス提供の維持が必要

- ・高齢者の移動手段として定着しつつあるきんぎょタクシー
- ・きんぎょタクシーの利用（運行形態等）への多様なニーズ

➡公共交通の一層の利用増進・サービス向上が必要

- ・鉄道（JR）の利便性の向上と駅及び周辺の快適空間づくり
- ・外国人居住者の増加
- ・新たな地域高規格道路や長洲港の利用促進
- ・ポストコロナの働き方・移動の変化への対応

➡だれもが利用しやすい公共交通サービスの提供が必要

公共交通の課題

①増加する高齢者の移動手段の確保

②利用者ニーズに対応した移動手段の確保

③誰もがわかりやすく、利用しやすい公共交通サービスの提供

④公共交通の利用機会の創出

⑤JR 長洲駅、長洲港における交通結節機能の強化

⑥デジタル技術を活用した効率化・利便性の向上

【長洲町における公共交通の基本理念】 暮らし・まちの発展を支える持続可能な公共交通

施策	取組内容	計画目標
----	------	------

基本方針① 社会情勢の変化に対応した公共交通の維持・改善

施策 1-1 きんぎょタクシーの継続運行と運行改善	<ul style="list-style-type: none"> ・きんぎょタクシーの持続可能な継続運行 ・町外乗降場所の追加検討 ・運賃の見直し検討 ・車両への有料広告・ラッピング広告等の検討
施策 1-2 公共交通に関する情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各公共交通機関に関する情報発信の実施 ・デジタルを活用した公共交通機関の運行情報や観光情報等の発信の検討

評価指標	現況値 (R4)	目標値 (R10)	目標設定の考え方
きんぎょタクシーの年間延べ利用者数	19,158 人	22,000 人	
きんぎょタクシーの町外乗降場所の数	5	7	
きんぎょタクシーの登録者数	3,838 人	4,400 人	1年間で120人
きんぎょタクシーの収支率	22.7%	25%	
きんぎょタクシー事業に係る町の財政負担額	1,841 万円	2,000 万円	
公共交通施策に関する満足度	11%	30%	町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合
JR 長洲駅の年間利用者数 (乗車人員)	213,890 人	260,000 人	コロナ禍前の水準
有明フェリーの年間利用者数 (総輸送人員)	676,837 人	800,000 人	コロナ禍前の水準

基本方針② 地域の安心と地域経済の活性化を支える公共交通の利活用促進

施策 2-1 公共交通利用機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会や民生委員・児童委員へのきんぎょタクシー利用方法説明会及び意見交換会の開催 ・「お試し乗車券」配布による乗車体験の実施 ・運転免許証自主返納支援サービスの継続 ・町健診及び町イベント等における会場送迎サービスの継続・検討 ・商業施設等とタイアップした買物割引制度等の検討
施策 2-2 手続きの簡素化による利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリ等によるきんぎょタクシー予約受付システムの導入検討 ・運賃におけるキャッシュレス決済の導入検討

評価指標	現況値 (R4)	目標値 (R10)	目標設定の考え方
高齢者運転免許証自主返納者数	40	5年間で250人	1年間で50人
社会福祉協議会や民生委員・児童委員への説明会及び意見交換会の実施回数	-	毎年度実施する	
きんぎょタクシーの登録者数 ※再掲	3,838 人	4,400 人	1年間で120人
施策に係るシステム等の導入	-	導入する	

基本方針③ 公共交通を利用しやすい環境づくり

施策 3-1 交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・長洲駅舎のバリアフリー化の検討 ・長洲駅駐輪場の整備 ・待合環境の改善 ・長洲港～長洲駅間の乗り継ぎ環境の改善
施策 3-2 広域交通ネットワークの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・新玉名駅、くまもと県北病院等へのアクセス向上策の検討 ・佐賀空港までの移動手段の検討
施策 3-3 多様な移動手段の確保に向けた情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な移動手段の確保に向けた調査・情報収集の実施

評価指標	現況値 (R4)	目標値 (R10)	目標設定の考え方
JR 長洲駅の年間利用者数 (乗車人員) ※再掲	213,890 人	260,000 人	コロナ禍前の水準
有明フェリーの年間利用者数 (総輸送人員) ※再掲	676,837 人	800,000 人	コロナ禍前の水準
きんぎょタクシーの町外乗降場所の数 ※再掲	5	7	